

あんず だより

2021

VOL.01

令和3年4月1日発行

広報誌「あんずだより」復刊にあたり	2
新任医師の紹介	2
人間ドックのご案内	2
COVID-19ワクチン接種について	3
診療科のご紹介「整形外科」	4
当院における人工関節センターの取り組み	4
背骨の病気について	5
介護老人保健施設「ひまわり」のご紹介	6
遥ばると一集いし人々とともに 大西益太郎伝 その1	7
外来担当医一覧表	8



千曲市森 上平展望台より (撮影・小針俊明)

診療科案内

- 内科
- 肝臓・消化器内科
- 腎臓内科
- 循環器内科
- 呼吸器内科
- 糖尿病・内分泌・代謝内科
- 消化器外科
- 肝臓・胆のう・膵臓外科
- 整形外科
- 脳神経外科
- 泌尿器科
- 皮膚科
- 形成外科
- 放射線科
- 麻酔科
- リハビリテーション科
- 歯科
- 人工透析センター



朝の外来カンファレンスの様子

CHIKUMA CENTRAL HOSPITAL

TEL.026-273-1212 FAX.026-272-2991

URL <http://www.chikuma-chp.com>



千曲中央病院
ホームページ

広報誌「あんずだより」復刊にあたり



理事長・院長
大西 慎彦

2010年6月から当院広報誌『あんずだより』を3年間程発行してりましたが、諸般の事情でしばらく休刊させて頂いております。

この間に当院を取り巻く環境は約10年前と比べると医療の質・内容ともに大きな変化を遂げました。

特に外科系の診療の幅が大きく拡がり当院での治療を希望され受診して下さる患者さんが増えてきております。

今後も『あんずだより』を通じて病院の情報をわかりやすく丁寧に発信させて頂きます。コロナ禍で先行きが不透明な

中でも地域住民の皆様の健康を守る者として、さらなる診療内容の充実と信頼され愛される病院を目指して職員一同努力して参ります。

なお当院では一緒に地域医療を担って頂ける多くの仲間を募集しております。

特定医療法人財団大西会とは法的に利潤は医療の普及と向上、社会福祉への貢献に還元しなければならぬ法人とされています。つまり私的な病院ではなく、限りなく公益性の高い病院と位置づけられております。

地元を離れていたが戻って来られることを検討中の医療従事者の方も何時でも歓迎致しますので、ご連絡をお待ち申し上げます。



新型コロナウイルス COVID-19 ワクチン接種について



副院長
松本 晶博

ワクチン接種の現状

2月17日より日本でも新型コロナウイルス(COVID-19)に対するワクチン接種が開始されました。最初は、国立病院機構関連の医療従事者2万人に接種し、副反応等を詳細に観察することとなり、3月中旬以降にその他の医療従事者への接種が開始されます。その後、65歳以上の高齢者、基礎疾患のある方、そして、一般の方と順々に接種されることとなります。16歳未満の方については、現時点で安全性が確認されていないため接種の対象外となりますが、将来的に安全性が確認されれば適応拡大となるでしょう。

新型コロナウイルスの種類

2月現在、日本で使用認可が

下りているのは、ファイザー社製の1種類のみです。アストラゼネカ社製が申請中であり、モデルナ社製が将来的に申請されるものと思われまます。接種期間と回数については、ファイザー社製は3週間あけて、その他は4週間あけて2回接種する必要があります。ワクチンの効果は2回目接種後7日以降に現れるとされていますが、1回の接種でも85%の発症予防効果があるとの報告もあります。

ワクチンの安全性について

問題は安全性ですが、現在使用可能なワクチンは、mRNA ワクチンまたはベクターワクチンというもので、これまでのウイルスの蛋白を用いたワクチンとは異なり、ウイルスの遺伝子を使用するワクチンです。従って、完全な安全性は未だ証明されていません。しかし、世界ではすでに2億人以上が接種しており、安全性に関する検討も報

新任医師の紹介



診療放射線科部長
高山 文吉

みなさんは診療でCTやMRIなどの画像診断を受けたことがあるでしょうか？今日の医療現場では病気の発見や病気の拡がりを診断するためにこれからの検査は必要不可欠となっております。CTはX線を使った検査で体を輪切りのように断面で撮影し、コンピュータで診療に役立つ画像を任意の断面で作成することが出来ます。MRIは特別な磁石で強い磁場を作って検査の対象部位を

様々な方向から断面像にしています。これら2つの重要な検査は病変の断面を撮るといふ事では似ているのですが、その画像には大きな違いがあります。また、対象となる臓器や病気がそれぞれの検査に向き不向きが存在します。加えて、近年は機器が高度化し検査内容も複雑化しています。放射線診断専門医の仕事はこうした診断機器の利点・欠点を念頭に検査を最適化し、画像を撮影し診断する事、さらに、読影の結果を主治医と共有し、最良の診療に繋げる事です。直接患者さんを診察したり、主治医になることはありませんが、当院の高度な画像診断を支えるチームの一員として精進したいと思っています。

人間ドックのご案内

人間ドックは今の健康状態を調べて、病気の早期発見・早期治療を目的としています。生活習慣病は長い年月をかけて少しずつ進行していき、自覚症状のない場合がほとんどです。年に1回の継続したご受診をお勧めいたします。

【半日ドック】 43,450円(税込)

●全身の健康チェックをしたい方におすすめ。

【二日ドック】 69,300円(税込)

●半日ドックの内容に大腸内視鏡検査を追加し2日間で全身を詳しく検査をします。

【脳ドック】 Aコース 29,370円(税込)

Bコース 49,720円(税込)

●主に脳梗塞や脳出血等の脳血管疾患を発症前に発見する事を目的としています。

【生活習慣病予防健診】 24,200円(税込)

●35歳〜74歳の協会けんぽ被保険者(ご本人)の方。

各種ドックのスケジュール、検査項目についてはお問い合わせください。

合わせて受診いただくとお得です。

人間ドック+脳ドックA ▶ 6,200円割引

人間ドック+脳ドックB ▶ 8,900円割引

■すべて完全予約制です。ご予約は余裕をもってお願いいたします。

お申し込み
お問い合わせは 千曲中央病院 健康管理センター
☎ 026-285-0489

本剤の臨床試験で報告された副反応（ファイザー株式会社）より

器官別大分類	極めて高頻度 (10%以上)	高頻度 (1%以上、10%未満)	低頻度 (0.1%以上、1%未満)	まれ (0.01%以上、0.1%未満)	不明 (利用可能なデータからは推定できない)
血液およびリンパ系障害			リンパ節症		
免疫系障害					アナフィラキシー、過敏症
精神障害			不眠症		
神経系障害	頭痛			急性末梢性顔面麻痺*	
胃腸障害		悪心			
筋骨格系および結合組織障害	関節痛、筋肉痛		四肢痛		
一般・全身障害および投与部位の状態	注射部位疼痛、疲労、悪寒、発熱、注射部位腫脹	注射部位発赤	倦怠感、注射部位痒感		

* 発熱の発現頻度は2回目接種後の方が高かった。これまでの安全性追跡調査機関を通じて、本剤群の4例に急性末梢性顔面麻痺が報告された。発現日は1回目接種後37日目(2回目接種を受けなかった被験者)、2回目接種後39および48日目であった。プラセボ群では急性末梢性顔面麻痺は報告されなかった。

の医師に相談してください。

接種については、妊婦以外は「強制はしないが努力義務」とされています。つまり、接種しなければ不利益になることもあるが、最終的には自己責任となっています。これからの様々な情報が出てくると思われまます。これらを踏まえて、ご自身が納得したかたちで接種されるようにしてください。

診療科のご紹介

整形外科

当院における人工関節センターの取り組み



整形外科部長
(膝・股関節外科専門)
森岡 進

2019年7月に当院では人工関節センターを開院いたしました。それまでは、当院では人工関節置換術は行われておらず、地域の方々は遠方まで治療を受けに行く必要があり、大変な苦勞をされていたことと思います。当院の人工関節センターでは術前に三次元CTデータを作成し、コンピュータ上で綿密な術前計画を行い、術前・術後に看護師、薬剤師、理学・作業療法士と共にカンファレンスを行い、治療方針の意思統一を図っています。当院に赴任するまでは北信越

節の重要な支持組織である韌帯や腱などの大部分を、切除せずに温存することで術後の脱臼の危険性を少なくします。また仰臥位前側方進入法は、非常に強い変形や関節の動きの制限がある場合には、必要に応じて腱などの一部を切除することで変形に合わせた調整ができる手法もあります。患者さんの多くが手術に対して不安や恐怖を感じていることは理解しております。しかし手術に対する不安が強すぎて適切な治療が行われずに、痛みのある生活を長期間過ごされることもお勧めできません。外来を受診された際に現在の状態や治療法について可能な限り説明しますので、最終的には、手術を受けるかの選択は患者さんご本人と、ご家族で相談して決めていただければと思います。今後も患者さんと開業されている先生方の信頼を裏切らないような手術や、治療を行えるように努力してまいりますのでよりしくお願致します。

最多の人工関節手術を行っている丸の内病院に7年間勤務し、年間150〜200件の人工膝・股関節置換術を執刀してまいりました。当院での2020年の手術実績は人工膝・股関節置換術、人工骨頭挿入術を合わせて99件であり、まだまだ当院の人工関節センターが、地域の皆様や開業の先生方に充分には認知されていないことを感じております。今後、地域の皆様に信頼していただけるような手術や治療を提



人工膝関節置換術
人工股関節置換術

供していただけるよう努力してまいります。私は研修医の時から手術にこだわり、自分が執刀する患者さんに満足していただけるような手術ができるようになりたいと考えてきました。これまでに数多くの人工股関節、人工膝関節を執刀してきました。その中で最近考えることがあります。満足していただけの手術とはなんだろう。と。医師になって20年近くが経過しようとしています。現在私が考える良好な手術とは、術前には患者さんの症

背骨の病気について



整形外科部長
(脊椎脊髄外科専門)
矢澤 隆

コロナ禍も感染再拡大が予測を許さない状況が続いています。皆さんいかがお過ごしでしょうか。今回は脊椎の病気についてお話しします。

座っていれば何ともないが、立っていたり歩いたりしているとき足腰がしびれて痛くなってくる、といった症状はないでしょうか。このような方は腰部脊柱管狭窄症という病気の可能性が高いです。腰椎(腰の部分の背骨)の管(脊柱管)の中には神経が通っていますが、その管が主に加齢変化で狭くなり、神経を圧迫することが原因で起こります。治療はまず薬、湿布などの保存治療になりますが、2〜3か月保存治療を続けても良くなる場合や、脚に力が入らなくなってきたり、尿の出が悪くなっ

てきたりといった症状がある場合は手術治療を考慮します。

もう一つ。長く続く首や肩の凝り、特に首を後ろに反らせたときに首から肩甲骨のあたりや腕に痛みが走る、腕や足がいつもしびれている、箸使いやボタンかけといった細かい作業がやりにくくなってきた、歩き方がぎこちなくなってきた、ふらふらする、といった症状はないでしょうか。これらの症状は、頸椎性脊髄症という病気の可能性が高いです。頸椎(首の部分の背骨)の中の管がやはり加齢変化により狭くなり神経(脊髄)が圧迫されることが原因で起こります。腰部脊柱管狭窄症の首バージョンです。治療は、腰部脊柱管狭窄症と違い、症状(特に手足の動きが悪い)が出た時点で手術を考慮します。薬や湿布などの保存治療はほとんど効果がありません。特に首を反らす動作が悪いので、なるべく反らさないように生活して頂くというのになります。転倒などによる頸髄損傷(手足の麻痺)

状、画像ともしつかり把握し、患者さんに合わせた綿密な手術計画を行い、手術では軟部組織を可能な限り温存し、術後の患者さんに不要な行動制限を要求しない手術です。

これまで人工股関節置換術の代表的な合併症として脱臼がありました。従来の手術法では股関節周囲の支持組織である関節包や韌帯、筋肉の附着部である腱などの一部を切除や切離していたため、術後には股関節周囲の安定性が低下し脱臼の心配がありました。そのため人工股関節置換術後の患者さんには、しやがんでハダメ、横向きに寝てはダメなど、日常生活動作に制限が設けられることが多くありました。しかし、近年では脱臼の発生を抑えるために患者さんの行動を制限するのではなく、手術法を工夫することで脱臼の危険性を少なくする新たな手術法が考えられています。そのうちのひとつが、現在私が行っている仰臥位前側方進入法という手術法です。この手術法では股関

の危険性と常に隣り合わせです。また頸椎の神経は脊髄といって脳と同じ中枢神経になります。中枢神経は一度傷んでしまうと基本的にはほとんど回復しません。このような理由から、頸椎性脊髄症の場合には軽症であっても手術をお勧めすることがあります。ここで話した2つの病気は、脊椎脊髄外科で手術になることの多いものですが、治療法は患者さんの年齢、症状、既往症(内科的な病気など)によって変わります。また同じ手術をしても非常に良くなる方とあまり良くなる方がいます。(悪くなることは減多にありません)もし今回話した症状が自分にあるようだ、と思われた方は、まず診断をつけるという意味でも当科(脊椎脊髄外科)を受診されてみてはいかがでしょうか。ちなみに当科では、脊椎脊髄手術に顕微鏡を用いており、安全確実に低侵襲な手術を心がけております。

介護老人保健施設「ひまわり」のご紹介

老健「ひまわり」は千曲中央病院と同様に特定医療法人財団大西会が運営しています。



ひまわりは千曲市桑原の中腹に位置し、周りをリンゴ畑に囲まれた風光明媚な場所にあります。

- 当施設では
- ①一般入所
 - ②ショートステイ
 - ③通所リハビリテーション
- の3つのサービスを提供致します。



1日型通所リハビリテーションでは…

継続した在宅生活を送ってもらえる様に身体や生活動作の改善を重視した個別リハビリを行なっています。6～8時間のご利用の中で、入浴や他利用者様とのふれあいや集団レク・各種作業活動を行なっています。定員20名。



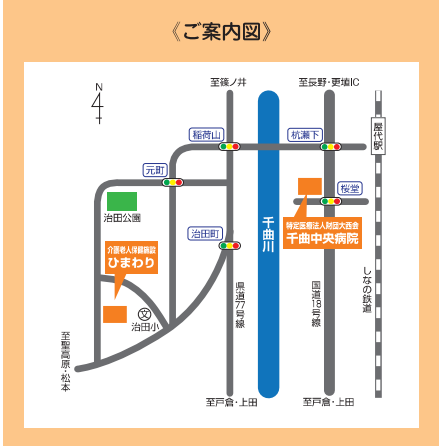
一般入所では…

地域の医療機関と連携して安心した在宅生活を送る事を目標に身体機能・生活動作の改善を重視したりハビリを行なっています。施設生活の中で利用者様が持つ能力を大切に、介護職による生活リハビリを行ないます。尚、ショートステイと合わせて100床の入所施設です。



ショートステイでは…

介護者の休養・緊急時の一時的な受け入れを行なっています。一時的な利用であっても在宅生活に必要なリハビリを行なっています。ご利用の際でも、身体機能や生活動作で困りな事がある時はお気軽にご相談ください。



老健「ひまわり」、千曲中央病院では共に地域医療を支える仲間を募集しています

「遙ばると集いと人々とともに大西益太郎伝」(その一)
 著者・清水 協 (1996年7月1日発行) より
 千曲中央病院創始者大西益太郎氏の伝記です。清水協氏の執筆により、一九九六年七月一日に発刊されました。今後シリーズとして掲載する予定です。ご愛読ください。尚、二十五年前の著書ですので地名が「更埴市」ですが原文のままですのでご理解ください。



序章 育んだ風土と大西の家

一 信州・埴科の要・屋代の地に
 大西益太郎は明治三十五(一九〇二)年九月十三日、長野県埴科郡屋代町(現在の更埴市屋代)に七人兄妹の長男として生まれた。

この地の歴史は古く、平安中期(九三〇年代)の文献にも、すでに屋代郷の名は記されている。明治に入って埴科の郡役所が設置されたことから判るように、江戸と北陸路とを結ぶ北国街道、および西の更級郡と東の真田の城下町松代とを結ぶ街道の交点に

位置するこの町は、人や物資の集積地として発達した。近世においては、長野と上田約八里の間にある埴科郡の中心地となっている。隣の更級郡下などに伝わる「おぼすて伝説」に象徴されるように、地味に乏しく貧困な地域が多かったかつての信州にあって、川沿いの盆地にあり土地も割と豊かで、気候も幾分穏やかなこの地は、比較的温和な気質を生みやすい土地柄だったともいえる。ちなみに現在の更埴の名は、更級・埴科両郡の名から取られたものである。

二 大西家盛衰

この屋代の地にあり、かつて高橋姓を名乗っていた大西の家は、ここが松代藩の領地だった時代、更級から屋代へと渡る千曲川の渡しを有し、町でも有数の豊かさを誇っていたといわれる。当時は屋敷も広大で、屋代の町中のかんりの広さの部分が大西家のものだったという。益太郎の生家は江戸の後期の頃、本家から分かれたので

あった。しかし幕末から明治の初期にかけて、大西一族にも転機が訪れる。当時の富裕な家にはしばしばみられたように、本家の主は放蕩が過ぎ、家が傾くほどに財を使い果たしたのである。芸者遊びや女郎屋通いに明け暮れたうえ、時には酒の風呂すらたてさせるといふ遊興三昧であった。しかもそんなある年のこと、集落の一角から起こった火の手は屋敷の大半を焼き尽くし、さしもの家も一気に没落の道をたどったのであった。

三 気概と徳

そのような状況の中、幕末に生まれ、本家から養子に入った祖父高蔵は、家を傾かせてしまった人物とは趣を異にした、気概と徳の人だった。日清戦争前後の頃と思われるが、高蔵は当時花形産業となりつつあった製糸工場の設立を思い立ったことがあった。そこで役所に設立の許可を願ひ出たところ、権限を握る役人は彼に賄賂を求めた。しかしその種の理不尽を承服できなかった彼は要求を断り、みずからの夢も捨て去ったのである。そして藤をゆゆる大釜など要らなくなった資材などをを使い、当時としても決して見栄えのよい仕事とは見られなかった風呂屋を開業したのであった。

高蔵にはまた、次のようなエピソードもある。分家に入って幾分かの出畑

を持ち、野良仕事も行っていた彼は、ある時、主が病に倒れて田起こしもできないまま放置されていた田んぼを見つけた。

「このままでは何も作れんし、困っているだろうに…」
 そう思った彼はその夜、行き先も告げず家に外出て、鍬を手に昼間見た田んぼへと向かった。そして着くとすぐに月明かりのなかで田起こしを始め、誰にも気付かれぬまま、明け方までには仕事を終えてしまったのである。

やがては養子となる身で、自家の盛衰の様なことを冷静に見つめることのできたに違いない高蔵は、物事にこだわらない淡々とした心の持ち主だったといわれる。嫌なことなどがあっても、「そういう因縁だから仕方がない！」そう言ってさっぱりとあきらめ、愚痴一つこぼすこともなかったという。

世の中は貧も長者も同じこと
 冥土の旅はよせ鐘で行け

これは彼が晩年、みずから辞世の句と言って詠んだ歌だった。鐘と金(三途の川の渡し賃)とをかけ合わせ、「どうせなら皆で融通し合って、にぎやかに楽しく行けばいいじゃないか」――益太郎はそんな祖父や、一人っ子として育ち、真面目で勤勉でおとなしい父竹一郎らの家族に囲まれ、成長していったのである。(次号に続く)

あんずだより 令和三年四月一日発行／長野県千曲市杭瀬下五八番地／特定医療法人財団大西会千曲中央病院／発行責任者 千曲中央病院理事長・院長 大西禎彦 TEL 026-273-1212 FAX 026-272-1299

診療科	専門	月	火	水	木	金	土 AMのみ
内科	一般内科	安里(PM) 多田	植田 (AM) (漢方外来) 久保田 (受付15:00まで)	松本(史) (AM)		安里(AM) 島田 (受付15:00まで)	安里
	消化器	宮林(AM) (新患のみ11:00~) 窪田(AM)	宮林(AM) 昭和大医師(PM)	窪田(AM) 昭和大医師(PM)	宮林 (AM/肝臓外来/PM紹介のみ) 松本(晶)(PM)	長田(AM) (予約のみ11:00~) 松本(晶)(PM)	宮林 窪田 松本(晶)
	内分泌代謝	山内(PM)		横田	春日 (AM/PM予約のみ)	横田(PM) (受付15:00まで)	
	腎臓	大西禎彦(PM)				大西禎彦(AM)	大西禎彦(AM)
	呼吸器						国際医療 福祉大医師
	循環器	山田(AM) (10:00~)	山田(AM)	東海 (AM/PM予約のみ) 太田(PM)	橋本(PM) (新患のみ) 東海(AM)	橋本(AM) 小山(PM)	
外科	一般外科	大西雄太郎 (AM)					大久保/長谷川
	消化器外科		長谷川(AM)			長谷川(AM)	
	肝胆膵外科		大久保(AM)			大久保(AM)	大久保 (肝臓外来/予約制 第3-4週のみ)
整形外科	一般整形	太田 (受付16:00まで)	山中 (受付16:00まで)	田中 (受付16:00まで)		片山 (受付16:00まで)	信大医師
	膝・股関節	森岡 (9:30~/AM)		森岡 (9:30~/AM)		森岡 (PM予約のみ)	
	脊椎脊髄		矢澤(AM)		矢澤	矢澤(AM)	
脳神経外科		市川(AM) 飯島(PM)	市川(AM) 飯島(PM)	斎藤 飯島(AM)	市川(AM) 飯島(PM)	市川(AM)	飯島 (第1-3-5週のみ) 日赤医師
泌尿器科		逸見(AM)	逸見(AM)		逸見(AM)	逸見(AM)	逸見
皮膚科		今井 (受付15:00まで)	今井 (AM)	今井 (受付15:00まで)	今井 (受付15:00まで)		
形成外科			東京女子 医大医師 (AM)			東京女子 医大医師 (AM)	東京女子 医大医師
歯科	大西聖彦・大西真理						

1. 午前受付 8:00 ~ 12:00
午後受付 13:00 ~ 17:00
2. 【午前診察】 9:00 ~
【午後診察】 14:00 ~ ※土曜日は午前中のみ
3. 急患等でお待たせする場合がありますが、その際はご容赦ください。
4. 休診日：日曜日・祝祭日、第2土曜、第3木曜、年末年始、7月1日（創立記念日）
5. 医師の都合により急遽休診・変更となる場合がございますので、ご了承ください。
6. 予約および予約変更の受付 月~金曜日 15:00 ~ 16:00（歯科は除く）

緊急診察は24時間365日対応しております。緊急の場合はもちろん、不安を感じた時でも遠慮せずご連絡ください。TEL.026-273-1212

編集後記

『あんずだより』復刊にあたり、編集長を務めさせて頂きます山崎陽です。読んでくださる皆さんのことを最優先に考え、求められている情報を常に発信できるよう精進して参りますので、これからもどうぞよろしくお願い致します。

本誌は年に4回（4月・7月・10月・1月）発刊致します。ご覧いただき、ご意見・ご要望等ございましたらぜひお聞かせください。7月号発刊に向けてすでに動き出しております。次号もお楽しみに。